

R8 魚津市のコミュニティ・スクール⑦

東部中学校

5/27(水)運営協議会委員による学習参観のあと、第1回学校運営協議会が開催されました。会長に野村委員(経田地域振興会 会長)、副会長に本元委員(道下地域振興会 会長)が選出されました。

校長の有澤委員から、学校運営方針や取組みの重点について説明がありました。目指す学校像として、「ともに輝く笑顔あふれる学校」を掲げました。昨年の「一人一人が」から「ともに」と変更し、個々ではなく、「みんなで」と思える生徒の育成を目指したいとの説明がありました。学校運営方針は、取組内容も含め、承認されました。

目指す学校像

ともに輝く、笑顔あふれる学校 (明日も来なくなる学校)

授業が楽しい学校

- ・「わかった」「できた」がある授業…「好き」を増やす (授業評価の実施)
- ・生徒が主体の授業改善…一斉講義型の授業からの脱却、生徒の「疑問」からの出発

生徒が主体的に活動する学校

- ・生徒会活動の活性化…生徒主体の活動実践
- ・学級活動の充実…話し合い活動の充実、自分たちで問題を解決

地域とつながる学校

- ・PTA や学校運営協議会とのさらなる連携…地域の人材・もの活用
- ・生徒が地域に貢献…学校外での生徒の主体的な活動

笑顔を活気にあふれる学校

- ・凡事徹底…挨拶、返事、言葉遣い、校歌、整理整頓、時間、役割等
- ・ルール (生徒心得) の徹底…自分たちで考える・つくる・守る
- ・あたたかな人間関係の構築…安心安全な学校 (友達がいる、いじめなし)



学校運営方針 資料より

委員からの主な意見

「『中学校は敷居が高い』と感じていたが、今は違う。学校の様子を知る機会が増え、身近に感じるようになった」

「中学生と共に過ごすツールとして、様々な形があると知り、協力できるものはしていきたい」

「ボランティアの方も仕事を調整して参加しており、地域との連携を推進するには、持続可能な取組であることが大切」

など、学校と地域がつながる機会について意見が多く出されました。

また、昨年の「地域の活動に積極的に参加してほしい」「生徒と接する機会を増やしたい」との意見を受け、運営方針に「地域とつながる学校」を位置付け、「地域連携担当」の教員を配置して取り組むと説明がありました。

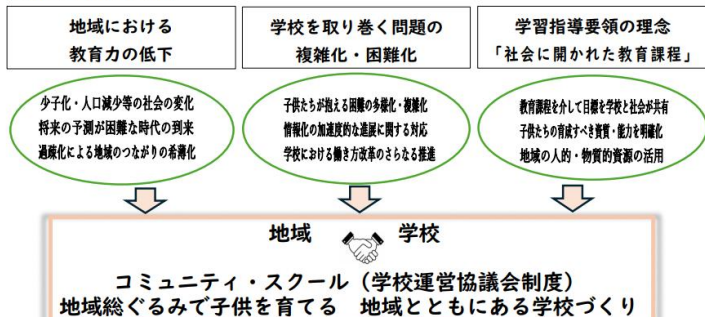


昨年の学習支援の様子 (地域学校協働活動)

協議の中で、「生徒の挨拶」について話題となりました。校長の有澤委員より、特に1年生の朝の挨拶が素晴らしい、「笑顔と活気にあふれる学校」づくりに向けて大切にしていきたいと話がありました。

そこで、生徒の笑顔と活気を地域にも広げたいとの願いから、アクションプランに「自ら進んで校内外や地域の方に挨拶ができる生徒…80%以上」を設定して取り組むと説明がありました。

地域とつながる学校



学校運営方針 資料より